

新型コロナに負けない！！⑪

7～8月、秩父での流行でわかったこと、気付いたこと

7月22日、秩父市で3例目の陽性者が発表になった。その後、本日(8月4日)までに秩父市、皆野町で28名の陽性者が発生し、秩父地域での新型コロナ感染症陽性者は通算30名となった。これは人口10万人に対する陽性者の全国平均数、東京都内発生数をはるかに上回るものであるが、人口の少ない地方都市で流行がみられる場合の典型的な例である。

今回の秩父地域での発生状況を分析すると、つぎのような特徴がみられる。

- ① 全員が秩父地域在住であり、いまのところ地域外への感染は確認されていない。
- ② その90%について感染源を特定できており、接触者、知人、家族にほぼ限定して発生している。明らかな市中感染は確認されていない。
- ③ 酸素吸入や人工呼吸器装着が必要な重症者はいない。
- ④ うわさ話やデマが横行している。

不幸中の幸いであった点は、秩父の地理的な特徴と、新型コロナウイルス感染症に対する住民の意識の高さであると思う。また保健所の迅速な初動と、不眠不休の調査、対処により感染源の特定が進み、感染拡大が食い止められつつあること、そして市中感染が確認されていないことであろう。

しかし住民の品位を疑う出来事も散見された。必要な情報交換はしようがないと思うが、うわさ話を言いふらしたり、確証のないデマを拡散することは、第二の悲劇を生むことにもなりかねないし、人間関係の破綻、家庭崩壊、そして地域経済の崩壊につながる悪質な行為である。また道路や植え込み、駐車場、公園などに使用済みマスクが落ちている光景が多々見られる。

今からでも遅くない。そのような行為は慎んで、秩父人の品性と意気込みを示すべきである。

皆さん！ ここでもう一度確認しましょう！

「私はうつさない」「私はうつらない」

- ① マスク着用、捨てるときはゴミ箱へ
- ② こまめな手洗い
- ③ 密閉・密集・密接 「3つの密」を避ける
- ④ 大人数での会食自粛
- ⑤ 感染確認アプリの登録
- ⑥ 不安な症状があった場合は外出をひかえ、すぐに「かかりつけ医」に電話で相談、「かかりつけ医」の判断に従って次の行動へ
- ⑦ 感染者と接触のあった場合は、新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター 0570-783-770 へ電話して相談(24時間対応)

秩父郡市医師会会長 井上 靖